

駅前にある区政の中心施設の建設にあたり、以下の点に配慮した施設の建設・運営が求められました。

- ①地域のつながりづくり
- ②区民への農業体験の提供
- ③地域の原風景の再現

具体的な取り組み

8階屋上に芝生広場、畑、ビオトープの他に、屋上水田を設け、計画地周辺に残る戸塚の原風景である谷戸（やと）と、そこで展開される農の営みを同時に再現。竣工後、近隣の小学生を対象に田植え、稲刈り、餅つき、しめ縄作りなどを通じて、地域とつながる街づくりをお手伝いしました。

横浜市戸塚区総合庁舎



敷地面積3,900㎡
建築面積3,343㎡
地上9階、地下3階

駅前再開発とリンクした複合型“区庁舎”
(区役所、文化センター、コミュニティスペース、商業施設)

生物多様性を啓発する
環境づくりとして

屋上水田の設置



ビルの屋上という特殊空間に水田を整備し、同時に生き物のすみかも生み出しました

地域の小学生を対象にした

環境プログラムの 企画・運営



昔ながらの農法体験に加え、食料生産の場・生き物のすみかにもなる水田の多面的な機能を学習できる機会を創出しました

サービス体制

鹿島は企画から運営までトータルサポート

- 企画立案
- 設計・施工
- 環境教育プログラムやワークショップの計画・運営
- メンテナンス

サービス内容

運営管理側に最大配慮した屋上緑化の設計・施工

屋上という特殊空間で水田を整備するには、通常の緑化とは異なる技術や維持管理ノウハウが必要です。鹿島はその技術とノウハウをご提供します。



運営後の環境プログラムの年間計画立案・企画調整・プログラム運営

屋上農園や水田設置による付加価値向上のポテンシャルを引き出すには、その空間に適した多様なプログラムが必要です。鹿島では屋上の未利用空間を地域交流・教育・健康増進・施設の収益改善など付加価値創出に寄与するプログラムの計画・企画調整・運営のお手伝いをいたします。

戸塚の事例では、機械や化学肥料を使わずレンゲを活用した昔ながらの農法を用いながら、農作業体験と食料生産の場かつ、生き物のすみかでもある水田の多面的な機能を学習する場を提供しています。食への関心・身近な自然環境への関心を引き出すことに加え、共同で行う農作業の中での様々な人とのコミュニケーションを通じて、地域社会とのつながりを学ぶことができます。